



男の人は、なぜ、女の人よりも背が高いの

背がのびるのは骨が大きくなるため

背がのびるのは、足の骨や背骨など、体のいろいろな骨がのびて大きくなるからです。子どもが成長していくと、子どもの時代から大人の時代へと、体や心が変化していく思春期という時期をむかえます。思春期は、女子では、だいたい9才から14才くらいの間に、男子ではだいたい10才から14才くらいの間に始まりますが、このとき、身長や体重などの増え方が、急に速くなるのです。そして、その増える量が、男子は女子より大きいのです。

そのため、男の人は、女の人よりも背が高くなるのです。しかし、この増える時期や増える量には個人差があり、男の人よりも大きな女の人もいるのです。

大人になると、背ののびるのが止まるのは

子どもころの骨は、全部がかたい骨になっているのではなく、骨と骨とがとなりあってつながるふちの部分は、少しやわらかい骨になっています。

そこでは骨がどんどんつくられていて、背がのびるときは、まず、このなん骨が大きくなります。なん骨は、先に成長したところから順に、かたい骨におきかえられて、少しずつ骨は大きくなっていき、背もだんだんとのびていくというわけです。

大人になって、このなん骨の成長が止まると、骨はもうそれ以上には長くなりません。

そのため、背ののびるのも止まるのです。では、大人になると、なぜこのなん骨の成長が止まるのでしょうか。じつは、くわしいことは、まだ、よくわかっていないのです。

よく、成長ホルモンが出なくなるためだといわれますが、成長ホルモンは、何才になっても、血液中に若いころと同じだけあるため、これはあやまりです。（監修・保志 宏）

